

みかい

安住院便り
(第32号)

平成26年1月1日発行

〒703-8236
岡山市中区国富3丁目1-29
住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

宝物(ほうもつ)

お寺にある宝物(ほうもつ)は、決して金銀財宝などでは無く、什物(じゅうもつ)ともいいませんが、昔から寺に伝わる大切な仏具などを示します。御本尊を初めてとする種々の仏像・仏画、仏教の勉強をする為の様々な聖教などが多いですが、古くから続く当院では、藩主を初め多くの方々のからの寄進の書画などもあります。

下図で有名な東京国立博物館の国宝「地獄草紙」も、昔は当安住院にあり、昨秋に岡山県立美術館での展示で、ご覧になった方も多いたと思います。

「地獄草紙」は、平安末期に平清盛などの武家政治に移る頃、流行した六道輪廻・極楽思想より生み出された地獄を、經典の内容を解り易い絵巻にしたもので、「餓鬼草紙」などと同様、巻物になっています。

どのような経緯で、安住院蔵になったのかは、定かではありませんが、江戸時代の岡山で中心的な寺院であった当院に、どなたかが寄進して下さったと考えられます。



一般の皆さんには、「地獄草紙」のような、骨董的価値の有る文学作品に注目がいきませんが、当院には真言宗の修行の為の莊嚴類や經典が数多く残り、仏教関係に於いて、とても重要な物もあります。決して「鑑定団」で金額を付けられるような物ではありません。そして、当院にあるからこそ、値打ちがあるのです。他にも中世の岡山の状況を知る手掛かりになる、歴史資料も有していると考えます。

それらは、明治維新の廃仏毀釈で散逸したり、太平洋戦争後の混乱のため、整理出来ずにおりました。その中、境内整備を期に、少しずつではありますが、箱を開けて分類を進めて来ています。大学の先生に、目録作りもお願いしています。皆様に展示出来る形までの整理は、現住職の代で可能かどうか不明ですが、次の住職にもしつかり受け継いで行きますので、「ご安心下さい」。本堂・多宝塔のように、どなたにでも分かるものはありませんが、とても素晴らしい貴重な資料です。今後とも、檀信徒の皆さんにお知らせできるように、努力していきます。しかし、中には修復作業も必要なものもあり、何卒物心両面からのご協力を宜しくお願い申し上げます。

合掌

安住院ホームページ <http://www.anjuin.com/>

初観音法会のご案内

来る一月十七日(金曜)

午後一時より

本尊千手観音御宝前に於いて、大般若祈祷並びに護摩供を厳修致します。

年頭にお配りする「とし書き」にご記入の上、「ご参詣下さい。また、特別祈祷も申し受けま

(生駒 善勝)(その)

・副住職の僧侶としての
思い出の数々です・

今回私が僧侶になった時の
ことをお話します。

高野山大学へ進学した後、
在学中に僧侶になる為の修行
をして資格を得ました。一般
家庭で育ちましたので、卒業
後、すぐに僧侶の世界に入る
決心はつかず、ある企業より
内定をもらっていました。

ところが、ある事情により
内定が取り消され、途方に暮
れていました。その時、大学
でお世話になった先輩のお寺
へ相談に行き、「雇うことは
出来ないけど、ご飯だけは面
倒みるから、お寺に居ても良
いぞ」と言ってもらい、その
言葉に甘えました。そのお寺
には先輩と住職が壇務されて
おり、少しづつお参りの仕方
など僧侶としての(イロハ)
を教えて頂きました。更に、
お参りに必要な衣と袈裟も用
意してくださり、一緒にお参
りにも行くようになりました。
ところが、年が明けた一月
に、その住職が突然に病気で
亡くなってしまわれました。
その時、僧侶になることが、
恩に報いることだと気付き、
僧侶にならなければならぬ
との意思が芽生えました。
そして、翌年の四月より再
び高野山へ戻り、新たな心で
お坊さんへの道を歩み始めま
した。

丹波古刹霊場参拝

昨年十月十日、丹波古刹霊
場の第一回目の参拝を行いま
した。京都府中西部と兵庫県
中東部にまたがる丹波地方の
古刹十五ヶ寺霊場のを三回に
分けて巡る予定です。

霊場としては余り知られて
いませんので、皆さん初めて
の方も多く、新鮮な気持ちで
のお参りでした。宗派は真言
宗・禅宗とさまざまで、由緒
ある寺院が多く、広い境内に
多くの伽藍を有する所もあり、
時間を掛けてゆっくり拝観致
しました。

住職さんの詳しい寺歴の説
明や法話などもあり、京都市
内の観光寺院では味わえない
雰囲気を感じ、長く続いて来
た歴史に、感動した一日でし
た。維持管理は大変だとは想
います。是非これからも地
方の中心として、活躍して頂
きたいものです。

次の予定は、四月二十三日
(水)の第二回目ですので、
是非ご参加下さい。

